

# 故事成語

—— 登竜門 とうりゆうもん

是の時朝廷日に乱れ、

綱紀地に類つ。

膺独り風裁を持し、

以て声名自ら高し。

士の其の容接を被る者有れば、

名づけて竜門に登ると為す。

当時朝廷は日に日に乱れ、

綱紀が退廃していた。

李膺だけが品格を保ち、

名声が高まっていった。

士で李膺と親交がもてるようになった者がいると、

「竜門に登った」と言われた。